

## 第3回 府中町まち・ひと・しごと創生有識者会議 議事録

### 1. 日時

平成28年3月29日（火） 13:30～15:00

### 2. 場所

安芸府中生涯学習センター くすのきプラザ 1階 ギャラリー

### 3. 出席委員

- 【産】 葦丸 勝子 委員 府中町商工会 副会長  
(有限会社柳ヶ丘住宅 代表取締役)
- 【官】 木村 洋 委員 広島県地域政策局地域力創造課長
- 【学】 上之園 公子 委員 比治山大学現代文化学部子ども発達教育学科 教授
- 【金】 岡嶋 学 委員 株式会社広島銀行安芸府中支店長
- 【言】 益村 泉月珠 委員 広島テレビ放送株式会社編成局コンテンツビジネス部  
クロスメディアプロデューサー
- 【住】 新宅 祐也 委員 府中児童センターバンビーズ センター長
- 【住】 田中 宏光 委員 府中町まちづくり推進懇話会委員  
(元緑ヶ丘中学校 PTA 会長、元青少年問題協議会委員)
- 【住】 松本 真奈美 委員 府中町 PTA 連絡協議会 会長

※「まち・ひと・しごと創生基本方針2015」(平成27年6月30日閣議決定)の「産官学金労言」の各分野の該当順。  
冒頭括弧書きは該当分野。住民代表は五十音順。

### 4. 欠席委員

- 【産労】 堂河内 克也 委員 ゆうゆうタウン商店街商店者代表  
(セブンイレブン安芸府中本町5丁目店オーナー)

### 5. 町出席者

和多利町長、高杉教育長、地下地方創生担当部長  
(事務局) 高石企画財政部長、松岡主査、奥田主任技師

### 6. 傍聴人

12人(うち委員随員1人)

### 7. 次第

- (1) 開会
- (2) 町長あいさつ
- (3) 総合戦略の改定について
- (4) 総合戦略の検証について
- (5) 意見交換
- (6) 閉会

## 8. 委員の紹介

(人事異動に伴う委員の交代)

株式会社広島銀行安芸府中支店長 岡嶋 学 委員の紹介

## 9. 町長 開会のあいさつ

本日は、第3回府中町まち・ひと・しごと創生有識者会議ということで、何かとお忙しい中、お集まり頂きましてありがとうございます。

開催に当たりまして、主催者を代表し、一言ご挨拶を申し上げます。

まずはじめに、みなさんも御承知のとおり、昨年12月8日に府中緑ヶ丘中学校の未来ある15歳の生徒が自ら命を絶つということが起こったことについて、非常に悲しく残念でなりません。町立学校の設置者として、大きな責任を感じており、二度とこのようなことが起こらないよう、信頼回復に努めてまいる所存でございます。

さて、昨年10月1日に開催いたしました第2回会議におきましては、総合戦略について委員の皆さまから貴重なご意見を頂き、「子育て世代が居住を選択するまち」の実現に向けた第1歩を踏み出したところでございます。

本日は、後ほど担当部長が詳しくご説明いたしますが、前回頂いたご意見などを踏まえ、改定することといたしました総合戦略の内容について報告させていただくとともに、平成28年度以降、総合戦略に掲げた施策を効果的に進めていく上で必要となる、総合戦略の検証体制などについて、ご説明させて頂く次第でございます。

今後とも、人口5万人の維持へ向かって、まちづくりを進めて参りたいと考えておりますので、今後とも町の発展のため、皆様のご協力を賜りますようお願い申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

本日は宜しく願い申し上げます。

## 10. 総合戦略の改定について

(地方創生担当部長から、総合戦略の改定について【資料1】【参考資料1-1】【参考資料1-2】の説明が行われた。)

総合戦略の各施策については、平成28年度からの町の新たなまちづくりの計画となる第4次総合計画にも反映し、取り組んでいくこととしている。

### 【意見交換 内容】

#### ●委員1

【参考資料1-2】の8ページの「⑨子どもの感染症予防の推進」で、妊娠にあたって予防が必要な感染症について追記され、妊娠を望まれている方にとっては、非常にありがたいことではないかと思う。妊娠希望者を対象に抗体検査を行ったところ、約4割で抗体が不十分といった事例もあるため、予防に対する助成も必要であるが、さらに対象となる方に告知をするなど、もう一步踏み込んだ形で取り組んでいただくことを期待している。

#### ●委員2

【参考資料1-2】の6ページの「③児童センター等の子どもの居場所整備」により、母親

や地域の方、ボランティア等の活動が広がり、さらに子ども自身の選択肢も増えると思う。子ども一人ひとりが輝けるように取り組みを進めていきたい。

### ●委員 3

【参考資料 1 - 2】の 7 ~ 8 ページの「④放課後児童クラブ（留守家庭児童会）の充実」、「⑤放課後子供教室の取組強化」、「⑦地域の国際力を活かした小中学校英語教育の充実」において、具体的な実施スケジュールは決められているか。また、放課後子供教室の定員増や開催日数増、ネイティブの外国語指導助手の配置拡大など、具体的な数字があれば教えてほしい。

### ●事務局

全体的なスケジュールで言えば、平成 28 年度から始まるが、平成 29 年度から本格的に実施していく事業が多く、5 年後の平成 31 年度に向けて、できる限り速やかに実施していくこととしている。

### ●高杉教育長

総合戦略の教育の部分で言えば、放課後子供教室は、放課後の子どもの生活を作っていく事業である。我々が子どもの時、放課後に体験してきたことを今の子どもにも広げていきたい、しかもそれを安全にできるような仕組みづくりをしていきたいという思いがある。現在、放課後子供教室に入りたいという子どもはたくさんおり、それに十分応えられていない状況である。予算は付けているが、なかなか指導員が集まらず、大学等と連携を取りながら、指導員を確保していく必要がある。

また、ネイティブの外国語指導助手については、現在 1 名配置しているが、人数の増員ではなく時間数を増やすことを考えている。小学校 1、2 年生の低学年の時期から、帰りの会の 5 分くらいで英語のリスニングを行うなど、英語に慣れさせる機会を少しずつ増やしていき、中高学年で英語を話す機会も増やし、小学校で学んできたことをベースにした中学校 1 年生の英語の在り方というものを、小中連携の中で考えていきたい。このような取り組みとあわせて、町が受検費用を全員に、1 回だけでなく 2 回まで負担することにより、府中の学校に通えば、中学校を卒業する時に英検 3 級以上が取得でき、府中町の学校に子どもを通わせたいと思われるような環境づくりを進めていきたい。

### ●委員 4

放課後子供教室について、私もコーディネーターとして関わっているが、入りたいという子どもたちはたくさんいる。ボランティアをする側は、少しでも子どもたちの要望を叶えたいという気持ちで四苦八苦しながらやっており、もっとアピールしてボランティアが増えればいいと思う。1 年生から 6 年生までを見ているが、どの子も兄弟のように仲良くなり、子どもの成長する姿を見ることができ、とても嬉しく思っている。とてもいい取り組みのため、町としてもずっと続けてほしい。また、英検や漢検の受検はお金がかかるため、受けたくても受けられない子どももいるため、町が子どもたちの教育を応援してくれるのは、すごく素敵なことだと思う。

## 11. 総合戦略の検証について

(地方創生担当部長から、総合戦略の検証について【資料2】【資料3】の説明が行われた。)

検証にあたっては、上之園委員と岡嶋委員の2名に対して、毎年度検証結果を報告し、必要に応じて、委員全員による有識者会議を開催することとする。

### 【意見交換 内容】

#### ●委員5

【資料3】の仮設定指標の検証で、確かに何かをすれば何かが変わると思うが、おそらくマイナスにはならないと思う。部活動の備品や消防団の備品の購入とKPIとの相関がどの程度あるのか、その上がり下がりが結果としてどう表れるか、他の要因はどうかを調べていく必要がある。部活動で言えば、何をどの程度増やしていけばKPIの達成率を上げることができるか、指導する側や、町の取り組みなど、それぞれがどのように関係するか検証できるようにしていく仕組みが必要である。

2点目は、「子育て世代が居住を選択するまち」を目指すため、例えば、子どもを預けるということによって、府中町に預ければ施設も充実していて、保育士や教員も熱心でこんな保育や教育をしてくれて、こんな素晴らしい子どもに育つんだというようなことを、常に意識しておかないと、KPIの数値ばかりでそれを何のためにやっているのか分からなくなってしまう。保育士や教員、ボランティアなど子どもに関わる方々が、府中町の子どもたちをどんな子どもにしていくかということ、共有しながらやりがいをもって携わっていく、そういう仕組みづくりが必要だと思います。

#### ●事務局

数字に追われているということに関しては、これまで数字を追うことさえもしていなかったということで、国が総合戦略を作る際に、指標を設定する考え方を示し、慣れていないが評価を行っている状況である。数字を出せばきちんと分析しなければならない、数字を追うだけでなく質の面でもいろいろと考えていかなければならないということは、おっしゃる通りで、評価や分析のノウハウが十分でない中で、行っている状況であることをご理解いただければと思う。

#### ●委員6

評価については、おっしゃる通り、これまで数字を見ていなかったが、きちんと数字を見て、どうなのかということができていなかった部分であり、まずはそれを行うことが一番の意義のあることと県でも考えている。そういった中で、県において気を付けていることは、KPIを設定する時に、それが本当に意味のある指標であるかどうかをきちんと捉えることであり、例えば、【資料3】の5ページの「④消防団充実・強化推進事業」で、新規入団した団員数5人というのが大事ではなく、何かあった時にきちんと消防団としての機能を発揮できるかどうかの方が大事であり、そこから翻ってやはり安全な目標だという考え方は、全くその通りだと思う。

また、KPIに対して、それぞれの事業の中身が本当にリンクしたものになっているかどうかということもある。例えば、【資料3】の3ページの「②部活動の充実等による子ども育成事業」で、事業の目的と実際の事業の中身には、その間に多くの階層があり、部活動用の備品を

購入することでいろいろな効果が現れ、最後に問題行動の減少につながることになる。ひとつの事業だけで見るのではなく、それ以外のICT機器の導入や教師の指導力の向上など、町がいろいろ取り組む事業も関係していると思う。そのため、できればそのようなところも並べてみた上でどうなのかといった整理をするのが良いが、ただ本日の検証については、地域創生先行型の交付金ということで、このように止まっているということだと思う。実際に検証する際には、そういった所もしっかり見ていただけるものと理解している。設定指標の評価の方法については、非常に考え方もクリアで素晴らしい評価になるのではないかなと思うが、その際に再度【参考資料1-1】に戻り、個別の事業だけではなく、複数の事業でひとつの目的を達成するには、総合的に見てどうかということと、達成度の中で、どこが寄与度として高いのか低いのかということも考えていく必要があると思う。ただ、この分析は極めて難しい作業で、最終的には主観的な評価になってくるのではないかなと思う。そのため、今度は二人が議論されるということで、二人がきちんとした評価が出来るような資料とディスカッションで総合評価をすることの方が、意義があり、指標は目標値ではなく、あくまで物差しであるため、複数の物差しを使ってどうなのかというような議論をかみ合わせていくことが非常に大事だと思う。さらに評価の一番上の所で言えば、【参考資料1-1】の基本目標に、「広島都市圏で1番の子育て支援」とあり、他の市町の総合戦略も見ているが、これほど戦略性が高いものはない。他の市町はどちらかと言えば包括的で、まち・ひと・しごとと言われているように、仕事の部分を盛り込んで書かれており、そういったところは総合性が高く、評価できるが、府中町の場合は、外すものは全て外してしまい、これだけを目指していくということで、かなり絞られたものになっているため、ある程度評価しやすい部分もあると思う。ただ、広島都市圏で1番とされた以上は、周りの市町とどうなのかということも示された上での評価になり、住民の方もそこを求められると思うため、ぜひそのような視点を持ちながら評価を行い、さらにそれをきちんと公表し、府中町ではこういう暮らしが出来るということまでアピールすれば、最終的に人が集まり、出生率が高まっていくのではないかなと思う。

#### ●事務局

毎年度行う検証の結果については、町のホームページで公表し、ぜひいろいろな方の意見を出していただき、さらに良いものになっていければと考えている。

#### ●委員7

この会議が始まった時は、府中町に住んでいる方が出来るだけ府中町から転出していかないような良い町にしていこうということだったと思う。今回、この取り組みを見ると、そのようなことに気を付けられ、環境づくりや若い人への支援をたくさんされているなど感じた。本当にありがたいことだと思う。説明の中で放課後子供教室について指導員が不足しているとのことで、ボランティアを募集され、のんびりとした指導のできる方を募集されれば、子どもたちにとっても良いのではないかなと思う。

また、小中学校の英語教育について、英検を受検するまでに小学校低学年から、遊びの中で英語に親しめるような取り組みであれば、いつの間にか英語が好きになるのではないかなと思う。中学校卒業時の英検取得が何人、何%というと、見るだけでやめなくなるのではないかなと思う。そのため、小さい時から英語に馴染ませるような取り組みができるよう、これからの取り組み

に大いに期待している。

#### ●委員 8

現在、私はこのまち・ひと・しごと創生有識者会議とまちづくり推進懇話会の会議に出ており、その中で府中町がいろいろな子育て支援や少子化対策を非常にきめ細かく考えられているなど感じた。今後も府中町のために役に立つことがあれば、手伝っていきたいと思う。

また、私は府中町の消防団で指導員をしており、【資料3】の5ページで指標として新規入団した団員数5人が目標で、結果が4人の（仮）未達成となっているが、先日、消防団員の息子さんが地方の大学を卒業して帰ってこられるということで、消防団の入団を希望しておられ、書類がスムーズに進めば、この5人入団は達成されることになる。消防団の質の向上については、いろいろな備品をそろえていただき、充実している。4月4日に実施予定の府中中学校での消防署と消防団との実践訓練など、訓練が充実し、消防署の指導も強化され、消防団においても質の向上を図っている。訓練を実施していくには、予算が必要なため、ある程度考慮していただければ、さらに府中町消防団の質の向上にもつながると思う。よろしく願います。

### 12. 町長 閉会のあいさつ

閉会に当たりまして、一言お礼を申させていただきますと思います。私も計画に側面から携わって、皆さんからいろいろなご意見を聞かせていただき、良い知恵をいただいたところでございまして、今回、一応のまとめということで計画ができたということですが、先ほど話がありましたけれども、検証を今行っている。おそらくこれを進めていくと、まだまだご意見が出て来るのではないかなというふうに思うところですが、いずれにしてもこれからの時代をこの大事な総合戦略により、最善を尽くして取り組みをしていかなければいけない。このように考えております。取りあえずはひと区切りとなりますが、今後ともよろしく願いをいたしまして終わりのご挨拶とさせていただきます。